

研究所活動 (平成 23 年 4 月 ~ 平成 24 年 3 月)

- 平成 23 年 5 月 27 日 熊本学園大学産業経営研究所・海外事情研究所・韓国全南大学校経営研究所
学术交流 全南大学研究報告会
5 月 29 日 会 場：韓国光州市全南大学校
テーマ：“Special Topics in Management and Economics”
報告者：吉津晶子 「日本と米国 (ハワイ州) の幼老統合施設における世代間交流の特徴」
Soon Suk Yoon “How does cross holding ownership influence corporate governance and financial reporting?”
香川正俊 「日本のルーラル地域における公共交通の現状と諸政策」
Chai-on Lee “An open vs a closed system of Marxian labor values”
田中利彦 “Regional Economic Revitalization through Cluster Formation”
- 平成 24 年 1 月 1 日 池上恭子商学部教授 所長就任
- 3 月 10 日 産業経営研究所シンポジウム
会 場：熊本学園大学 14 号館 1421 教室
テーマ：「政令指定都市・熊本の都市戦略を語る」
挨 拶：所長 池上恭子
基調講演
熊本市副市長 寺崎秀俊 氏
シンポジウム
パネラー：熊本市副市長 寺崎 秀俊 氏
オフィス・ムジカ代表、西嶋コーポレーション株式会社取締役 西嶋 公一 氏
ピエス・コーディネーション代表、シニア・ソムリエ 米野真理子 氏
コーディネーター：熊本学園大学商学部教授 工藤栄一郎
- 3 月 31 日 所報『産業経営研究』第 31 号発行
研究叢書 第 46 号『九州発 本格焼酎新時代』発行
研究叢書 第 47 号『地産地消と地域活性化』発行

最近5年間の調査・研究業績

< 調査研究報告 >

号数	テ ー マ	執筆者	発行年月
94	社会主義原価計算論争	杉田 憲道	H 18. 3
95	小売業・商店街の活性化と「環境ネットワーク」論	出家 健治	H 18. 3
96	グローバル時代の新たな国内産業集積の形成と課題 九州地域の自動車部品産業を実例として	西岡 正	H 18. 5
97	「優良企業の条件」調査会 調査結果レポート	嵯峨 一郎 貞松 茂	H 19. 1
98	地域通貨とコミュニティの再生 商店街振興と関連して	宇野 史郎	H 19. 3
99	「優良企業の条件」調査会 21社調査結果レポート	嵯峨 一郎 貞松 茂	H 20. 2
100	The Role of Linguistic Auditing and English as an International Language in the East Asian Tourist Industry A Case Study of Kumamoto, Japan	米岡 ジュリ	H 21. 3
101	熊本市中心市街地の形成と展開 - 文化発信と商業集積の観点から -	幸田 亮一 宇野 史郎 吉村 純一 工藤 栄一郎 堤 豊	H 22. 3

第 89 号より「調査研究報告」と名称を変更した。

< 研究叢書 >

号数	テ ー マ	執筆者	発行年月
40	変容する熊本の労働	荒井 勝彦	H 19. 3
41	医療原価計算	山下 正喜	H 20. 3
42	九州・沖縄 食文化の十字路	豊田 謙二	H 21. 3
43	東南アジアのオートバイ産業	三嶋 恒平	H 21. 3
44	現代の地域産業振興策	伊東 維年 田中 利彦 出家 健治 下平尾 勲	H 23. 3
45	会計記録の基礎	柳井 雅也 工藤 栄一郎	H 23. 3

< 所報「産業経営研究」>

号数	テ ー マ	執 筆 者	発行年月
26	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本における地域百年企業のDNA 合資会社高橋商店のケース・スタディ ・高橋商店における経営機械化の発展 ・日系企業の経営現地化 (研究ノート) ・コーポレート・ガバナンス・システムと自由、権力の 正当性および価値論 ・企業の社会的責任、その今 (書評) ・今西宏治著『株式会社権力とコーポレート・ガバナンス アメリカにおける議論の展開を中心として』 文眞堂 2006年 ・研究所近況 	幸 田 亮 一 工 藤 栄一郎 堤 豊 喬 晋 建 貞 松 茂 貞 松 茂 勝 部 伸 夫 産業経営研究所	H 19. 3
27	<ul style="list-style-type: none"> ・都市経済・地域経済と環境政策 ・Extended Kindergarten Rule and Sustainable Development ・労働投入と賃金の調整における産業格差： 日本経済の実証分析 ・The Linguistic Monkeywrench and the English Shell: Multilingualism in an East Asian Business Conference (書評) ・山下正喜著『医療原価計算』が、今、なぜ必要とされるか？ ・研究所近況 	伊ヶ崎 大 理 伊ヶ崎 大 理 朴 哲 洙 米 岡 ジュリ 中 田 範 夫 産業経営研究所	H 20. 3
28	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消に対する農協の基本方針と農協の農産物直売所の実態 ・大分大山町農協の地産地消活動 農協による広域型地産地消活動の事例考察 ・地産地消と地域経済循環・推進方策・ネットワーク ・Ant Colony Optimization (ACO) の経済ネットワークデザイン 問題への応用 (書評) ・塩地洋編著 『東アジア優位産業の競争力 その要因と競争・分業構造』 ミネルヴァ書房 2008年 ・研究所近況 	伊 東 維 年 伊 東 維 年 伊 東 維 年 加 藤 康 彦 三 嶋 恒 平 産業経営研究所	H 21. 3

号数	テ ー マ	執 筆 者	発行年月
29	研究所設立 50 周年記念号 ・ 50 周年記念号発刊にあたって ・ 設立 50 周年記念シンポジウム (基調講演) 世界金融危機と失われた産業戦略 (シンポジウム) 地域経済の自立と連携 ~ グローバル化と九州・熊本のこれから ~ ・ ワーク・ライフ・バランス取り組みの現状 ・ カーエレクトロニクス化の進展とその課題 ・ CSR 活動の世界的な潮流: その理論と実践 ・ 南阿蘇村吉岡地熱地帯の 2007 年 2 月 ~ 2009 年 4 月の状況について ・ 太陽電池産業の動向と地域におけるクラスター戦略 ・ 経営戦略論の再考 経営戦略の有無と優劣 ・ 研究所近況	今 村 寛 治 金 子 勝 金 子 勝 幸 山 政 史 松 浦 茂 西 岡 正 幸 田 亮 一 荒 井 勝 彦 伊 東 維 年 喬 晋 建 新 村 太 郎 田 中 利 彦 古 田 龍 助 陳 大 為 産業経営研究所	H 22. 3
30	・ 自治体崩壊と財政危機要因 ・ 熊本県内中小企業の経営管理・管理会計実践に関する実態調査 ・ わが国農業における「担い手」の現状と課題 熊本県の営農事例を素材として (研究ノート) ・ 呼子町の人口の推移と産業構成の変容 水産物の地産地消の事例研究に向けて ・ 研究所近況	田 中 利 彦 飛 田 努 山 内 良 一 岩 尾 悠 久 伊 東 維 年 産業経営研究所	

所報の論文などについては、当研究所のサイト <http://www3.kumagaku.ac.jp/eb/> で公開します。